

平成29(2017)年「正覚寺報」5月号

ご案内

七百五十回大遠忌実行委員会 5月7日(日)19時

第4回実行委員会が開催されます。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

伝統奉告法要団体参拝 5月14日(日)

来月のご本山参拝行事です。新門主がお就きになり、如来様にご奉告する宗門を挙げてのお祝いの行事です。当日は、午前9時23分の快速で出発します。正覚寺の人数枠は15名です。

仏教婦人会例会 4月16日(火)19時半～

仏教婦人会恒例の例会です。寺院活動の中で最も伝統が古い活動です。お一人でも多くの皆様の参加をお待ちしております。

花祭り&降誕会见事にお勤め戴きました。

去る4月29日(日)には、正覚寺が15年振りの会所となり花祭りが営まれました。

毎年五月に開催する正覚寺降誕会は、これに合同して開催致しました。違いは、初参法要だけ次年度送りしたことです。

仏壮主催ですが、総代さん方が16日に聞名寺さんまで「白象」や備品を取りに行き、仏旗掲揚ポールの土台をご準備戴きました。

何日も前からの御心配に加えて、前日、仏壮の役員さん方が駆けつけて戴き一緒に[当日工程表(表方)]を確認しました。

「明日は昼から荒れそうだ」と天気予報の御心配にも「雷の神様(雷神)さんにもご活躍戴いた

らよいやないか」と御返事致しました。

それが雷神さんに聞こえたかどうか、当日は、計ったように、丁度午後の「ともしえ軍団」の真っ最中に夕立がやってきました。雷鳴はともかく「ともしえ」には明るい日差しより好都合になりました。降誕会の恒例行事でさっき植えたばかりのプランターの花の苗には丁度良い水やりになったばかりか、後は晴れ上がって帰路の子供達が駅まで帰れるかどうかの心配も杞憂に終り、後片付けがはかどって戴きました。

遑って、テントの下では早朝九時半からの受け、お昼のカレーライスの後には、ポップコーンと綿菓子のまことにこじんまりとスマートなサービスを演出して戴きました。

献華・献灯献香、甘茶掛けは、子供達の生涯に渡り忘れられない思い出になったことでしょう。

打敷は、坊守のこれまでの作品の中で最高の傑作でした。左右の小鳥の阿形(口を開けている)吽形(口を閉じている)は、全く意識がなかったそうで、こういうとき住職は如来様のお仕事と讃仰させて戴いております。

京都、大阪、山口から駆けつけて戴いたともしえの皆様をはじめ、何よりも御門徒の皆様方が慶んで戴いたことが大きな喜びでした。

「これなら三年に一回でもできる」

総代様のお言葉がこれを物語っているようでありました。合掌。

(お断り)写真は割愛しました。